

蓄電システム 設置完了報告書

※設置完了報告書は下記から最新のものをダウンロードして、必ず現地で記入してください。

【お客様情報】

http://www.nichicon.co.jp/products/ess/pdf_download06.html

フリガナ	チクデン タロウ	様	ご連絡先	固定・携帯	03-000-0000
お客様名	蓄電 太郎	様	ご連絡先	固定・携帯	090-0000-0000
設置場所	〒000-0000 都道 中央 市 東京 府・県 町・村・郡		日本橋兜町〇丁目〇〇-〇〇		
備考					

【製品情報】

※製造番号が写真では判別できない場合こちらを使用します。正確に記入ください。

製品型式	蓄電システム ESS-U1N3	製造番号	〇〇-〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
製品型式	室内リモコン ESS-R1N2	製造番号	NCN1HH〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【別売品製品情報（オプション品）】 ※別売品の設置有り案件の場合記入

製品形式	G55075-R（分電盤）	製造番号	〇〇〇〇〇〇
製品型式		製造番号	

【販売会社情報】

フリガナ	チクエネシステムカブシキガイシャ	ご連絡先	固定 携帯	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
会社名	蓄エネシステム株式会社	ご連絡先	FAX	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
住所	〒000-0000 都道 埼玉 府 〇〇 市 区 〇〇 町・村・郡		〇〇 町〇丁目〇〇-〇〇	
ご担当者様	販売 太郎			

【施工会社情報】

上記案件に付、次ページ以降に記載したとおり、工事説明書に準拠し設置工事、点検を行い、異常なく完了いたしました。

フリガナ	カブシキガイシャチクデンセツビコウジ	ご連絡先	固定 携帯	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
会社名	株式会社蓄電設備工事	ご連絡先	FAX	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
住所	〒000-0000 都道 東京 府 〇〇 市 区 〇〇 町・村・郡		〇〇 町〇丁目〇〇-〇〇	
ご担当者様	施工 一郎	ニチコン 施工ID	HP17F9999	
点検・検査 結果	良	工事 完了日	2018年 8月 1日	

※施工された方の自己申告です。

※施工IDは施工研修修了証に記載されています。修了証の裏面には施工できる機種を記載しています。

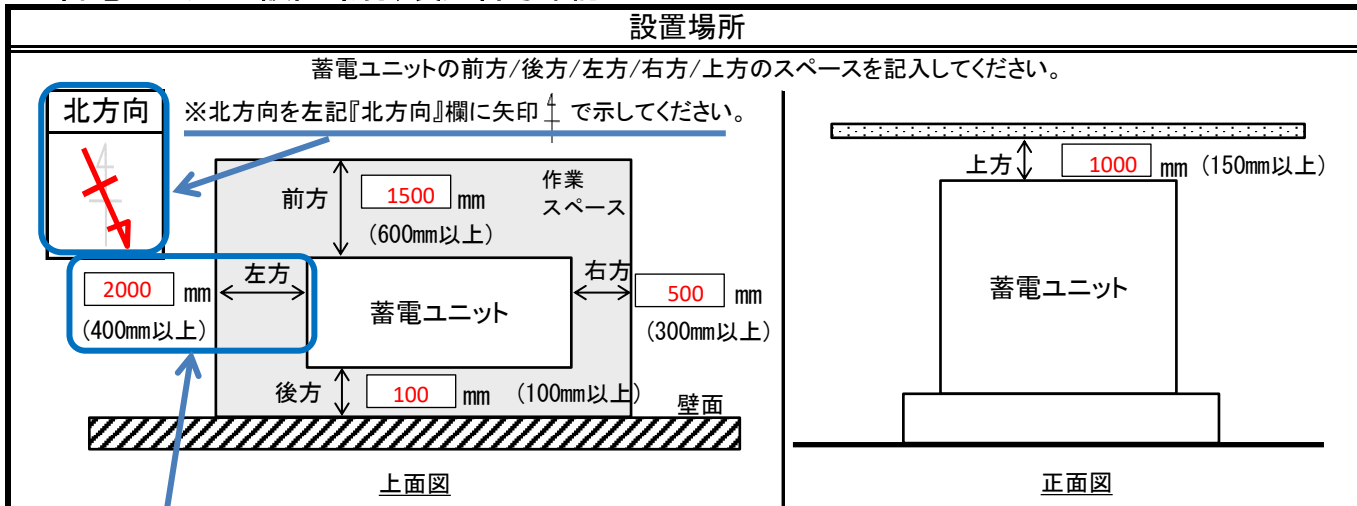
【送付先】ニチコン株式会社 電源センター 蓄電システムサービス部

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町14番9号

【弊社記入欄】

営業受付日		サービス処理日		管理No.	
-------	--	---------	--	-------	--

1. 蓄電ユニットの設置環境、製造番号確認

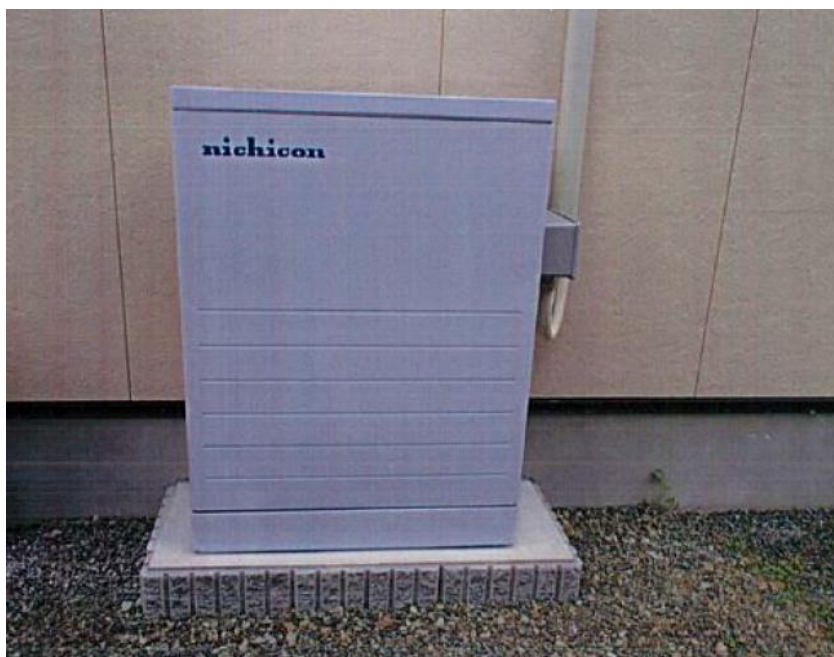


蓄電ユニット設置環境写真

※蓄電ユニットを前から見た時には右側のスペースです。

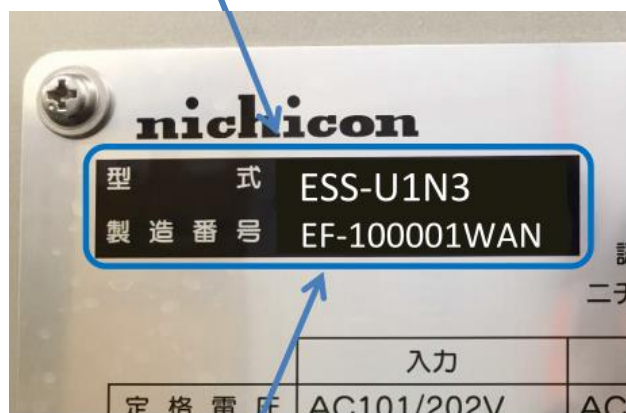
※設置スペースの確認できる写真を必ず貼付してください。

※文字が読み取れるように撮影してください。



機種銘板の写真(製造番号が読み取れる写真)

【本体(ユニット)】



※蓄電ユニット左側アルミ名板の「型式 ESS-U1N3」「製造番号 **-*****WAN」を撮影

【リモコン】



※リモコンユニット裏面の「TYPE ESS-R4」と「No NCN1HH*****」を撮影

2. 併設機器の設置状況確認

※自立出力を接続されない場合はその旨記入ください。

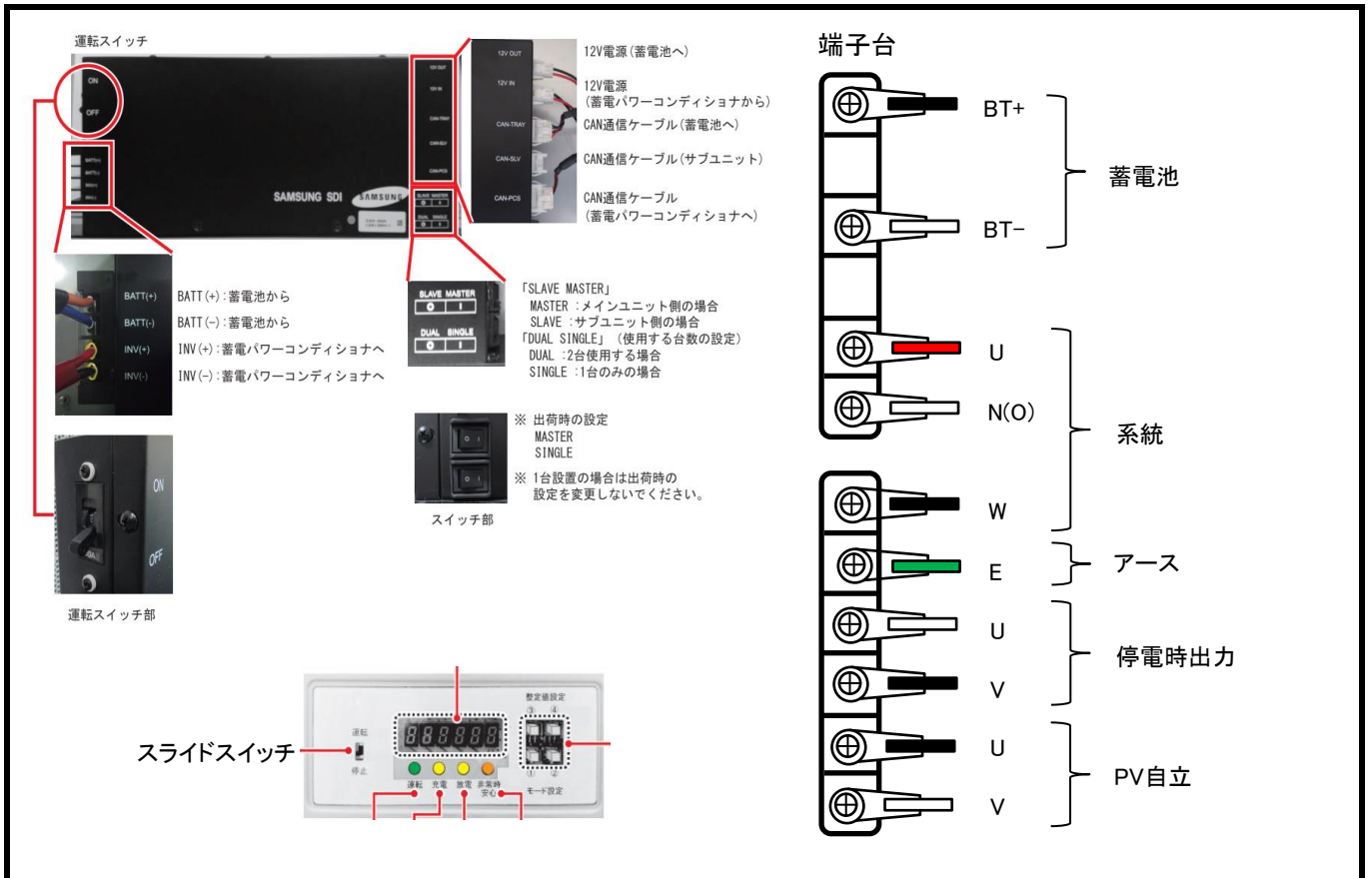
確認項目	確認内容	チェック
1. 太陽光発電の有無	(有) (2 台) ・ 無	✓
2. 太陽光発電パワコンの型式及び適合機種であることの確認 (1. で「有」の場合のみ記入)	メーカー： × × × 社 型式： Δ Δ * * * - Δ * * 定格出力： 3.3 kW ニチコン指定の適合機種であること ※自立出力は未接続 メーカー： 型式： 定格出力： kW ニチコン指定の適合機種であること	✓
3. エコキュートの有無	(有) (メーカー： × × 社 型式： Δ Δ - × × × ×) ・ 無	✓
4. エネファーム、エコウィルの有無	有 (メーカー： 型式：) ・ 無	✓
5. 上記以外の併設機器 (風力発電など)	上記以外の併設機器がありましたら、種類/型式を記入してください。 無し	✓

※自立出力の接続できる機種はホームページで確認ください

<http://www.nichicon.co.jp/products/ess/sonota-s.html>

3. 蓄電ユニットの電源投入前確認

確認項目	確認内容	チェック
1 蓄電ユニット内部のスイッチ類の確認 (下表参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャンクションボックス左側面の運転スイッチがOFFになっている ・ジャンクションボックス右側面の「SLAVE MASTER」スイッチが「MASTER」側になっている ・ジャンクションボックス右側面の「DUAL SINGLE」スイッチが「SINGLE」側になっている ・操作パネルのスライドスイッチが「停止」側になっている 	✓
2 外観確認	傷やへこみ、汚れ、腐食、破損はない	✓
3 周辺確認	周りにガス、引火物はない	✓
4 据付け確認	据付け穴4ヶ所について、アンカーに角スペーサ、ワッシャ、ナットでしっかり固定してある	✓
5 プルボックス取り付け確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニットとの間にパッキンを入れて、ユニットにしっかり固定してある ・蓋は間にパッキンを入れて、プルボックスをしっかりと閉じている 	✓
6 配管確認	PF管3本または4本をPF管コネクタを使って、しっかりプルボックスに取り付けられている	✓
7 蓄電ユニット内部引込み口確認	引込み口の開口部2ヶ所をパテで隙間なく、充填してある	✓
8 蓄電ユニット内部確認	蓄電ユニット内部に腐食、汚れ、水の侵入がないこと。	✓
9 ケーブル確認	工事説明書記載のケーブルを使用している	✓
10 端子台、コネクタの配線接続確認	<ul style="list-style-type: none"> ・電線が誤配線なく接続されている (次ページ表参照) ・端子台接続端子のネジにゆるみは無い ・各ケーブルの被覆が端子台に噛み込んでいない ・コネクタ (3ヶ所) がしっかりと接続されている 	✓



4. 蓄電ユニットの絶縁抵抗測定

測定方法：蓄電システムが停止の状態での絶縁抵抗計のレンジをDC500Vに設定し、各端子とE端子間を測定。

判定条件：各端子の絶縁抵抗が1MΩ以上であること。

系統_U -E間	系統_N(O) -E間	系統_W -E間	停電時出力_U -E間	停電時出力_V -E間	PV自立_U -E間	PV自立_V -E間
40	40	40	∞	∞	∞	∞
MΩ	MΩ	MΩ	MΩ	MΩ	MΩ	MΩ

5. 蓄電システムの運転確認

確認項目	確認内容	チェック
1 運転スイッチ、ブレーカ類の操作	①ジャンクションボックス左側面の運転スイッチをONにする。 ②蓄電システム用ブレーカをONにする。 ③主幹ブレーカをONにする。 ④非常時兼用コンセントブレーカをONにする。 ⑤操作パネルの表示部がOP._3_になっていること。	✓
2 電池電圧の確認	端子台のBT+、BT-間電圧を測定し、144V以上である。	✓
3 LED点灯の確認	①待機モード(OP._0_)を選択する。 ②操作パネルのスライドスイッチを「運転」側にする。 ③一番左のLEDが緑色に点灯している。 ④操作パネルの表示部が00._.__になっている。	✓
4 異常音、異臭の確認	ブザー鳴動、異常音、異臭がない。	✓

6. 電気測定（その他）

【系統電圧測定】									
1	測定方法：蓄電システム停止時に端子台の系統U・N(0)・W端子の各端子間の電圧を測定								
	判定条件：U-N(0)・W-N(0)間が101V±6V、U-W間が202V±20Vの範囲内であること								
	U-N(0)間	101.3	V	W-N(0)間	102.1	V	U-W間	203.5	V
【アース間電圧測定】									
2	測定方法：蓄電システム系統運転時に端子台E端子とN(0)間の電圧を測定								
	判定条件：AC 1V以下であること								
					0.7	V			
【自立運転出力電圧測定】									
3	測定方法：蓄電システム自立運転時に停電時出力端子の電圧を測定								
	判定条件：AC 101V±6V以下であること								
					101.0	V			

7. 整定値確認

	設定項目	表示	設定値	初期値	入力値
1	系統過電圧検出レベル	0v_	110V、115V、120V	115V	115 V
2	系統過電圧検出時間	0vt	0.5秒、1.0秒、2.0秒	1秒	1.0 秒
3	系統不足電圧検出レベル	Uv_	90V、85V、80V	80V	80 V
4	系統不足電圧検出時間	Uvt	0.5秒、1.0秒、2.0秒	1秒	1.0 秒
5	周波数上昇検出レベル	OF_	50Hz時：50.5Hz、51.0Hz、51.5Hz	51.0Hz	51.0 Hz
			60Hz時：60.6Hz、61.2Hz、61.8Hz	61.2Hz	
6	周波数上昇検出時間	OFt	0.5秒、1.0秒、2.0秒	1秒	1.0 秒
7	周波数低下検出レベル	UF_	50Hz時：49.5Hz、49.0Hz、48.5Hz	48.5Hz	48.5 Hz
			60Hz時：59.4Hz、58.8Hz、58.2Hz	58.2Hz	
8	周波数低下検出時間	UFt	0.5秒、1.0秒、2.0秒	1秒	1.0 秒
9	位相急変検出レベル	PAS	±10度、±15度、±20度	±10度	10 度
10	復帰時間	HLd	10秒、60秒、150秒、300秒	300秒	300 秒

8. 他の設定確認

	設定項目	表示	設定値	初期値	入力値
1	アンペアブレーカ	Ab	単位：A／変更ステップ：10A 設定範囲：0A～60A 0の場合機能OFF	0	50
2	設置年月日		YY（西暦下2桁）.MM.DD.	12. _1. _1.	2018/8/1

9. 充放電動作確認

1	強制充電	強制充電モード(OP. _1_)を選択し、スライドスイッチを「運転」に合わせ 表示部の表示値が1.5～2.4kWの範囲である	表示値	2.3	kW
2	強制放電	100W以上の負荷を繋ぎ、強制放電モード(OP. _2_)を選択し、スライドスイッチを「運転」側にし、接続した負荷が問題なく動作する（確認後経済モードに戻した）	確認時の負荷の種類	照明 冷蔵庫など	

10. リモコン設定項目

1	日時の設定	日時の設定：	15時	30分	
2	設置日の確認	設置日：	2018年	8月	1日

11. 停電時動作確認 (家電品は非常時兼用コンセントに接続)

1	自動給電切替設定	電動機以外の家電品を接続して動作に問題はない	確認時の負荷の種類 ドライヤー
---	----------	------------------------	---------------------------

12. 最終確認

確認項目		確認内容	チェック	
1	蓄電ユニット	外観	傷やへこみ、汚れ、腐食、破損がない	✓
		パネル	天板：左右計4ヶ所すべてのネジに緩みがない	✓
			フロントパネル：左右計16ヶ所すべてのネジに緩みがない 蓄電パワコンパネル(右)：左右計3ヶ所すべてのネジに緩みがない	
		運転スイッチ (ジャンクションボックス 左側面)	【電力会社との契約を完了し、本運転を開始した状態で引き渡す場合】 ONである	✓
			【後日、本運転開始時に再度立ち上げる場合】 OFFである	✓
スライド スイッチ (操作パネル)	【電力会社との契約を完了し、本運転を開始した状態で引き渡す場合】 「運転」側である	✓		
	【後日、本運転開始時に再度立ち上げる場合】 「停止」側である	✓		
2	室内リモコン	外観	傷やへこみ、汚れ、腐食、破損がない	✓

13. お客様への説明 (既入居時のみ)

ご説明事項		チェック
1	各運転モード、非常運転モードがどのような動作になるか説明した	✓
2	運転モード、非常運転モードの設定方法を説明した	✓
3	充電開始、放電開始時間の設定方法を説明した	✓
4	停電時の家電品利用の注意事項を説明した (医療機器や瞬停の影響を受ける機器はつながらない)	✓

※お客様御不在の場合は、販売店様に説明を行っていただくようにご案内ください。